

第5期とつかハートプラン「区計画」素案の意見募集の実施結果について

戸塚区では、第5期とつかハートプランの策定にあたり、素案の内容について、意見募集を実施しました。戸塚区在住・在勤の皆様から貴重なご意見・ご提案を賜りまして、誠にありがとうございました。

1 実施概要

(1)実施期間

令和7年5月20日（火）から6月20日（金）まで

(2)意見募集の方法

Eメール、郵送、FAX、窓口持参、電子申請システム

(3)周知方法

ア)素案冊子・概要版の配布 計34か所

区役所 地域ケアプラザ、地区センター、戸塚区社会福祉協議会、区民活動センター
地域子育て支援拠点など

イ)関係団体等への説明 計16か所

区連合町内会自治会連絡会、区民生委員児童委員協議会、区社会福祉協議会各分会、
区自立支援協議会、区保健活動推進委員会など

ウ)広報

広報よこはま戸塚区版、戸塚区ウェブサイト

2 実施結果

(1)意見総数

24の個人・団体よりのべ136件の意見が寄せられました。

(2)提出方法の内訳

Eメール13件、郵送4件、FAX0件、窓口持参6件、電子申請システム1件

(3)内容別意見数

5年後に目指すまちの姿	意見数
1 おたがいの違いをわかりあい認めあい尊重しあえるまちになっている	15
2 その人らしいつながりの中でいきいきと暮らせるまちになっている	30
3 困っている人に気づき支えつなげることのできるまちになっている	24
4 誰もが安心して暮らせる仕組みや場が充実したまちになっている	24
5 戸塚区に関わるすべての人・団体・法人が力をあわせるまちになっている	16
6 防災・防犯・健康危機管理についてみんなで備えるまちになっている	6
計画全体に関すること	21
合 計	136

(4)具体的な意見（一部抜粋）

項目	具体的な意見
5年後に目指すまちの姿1	・外国の方が、いろいろな困りごとを相談する相談窓口が戸塚区は、明確ではない。子どもの日本語教育で心配な保護者もこれからも増えていく。教える場所やボランティアも足りない。 ・防災の面でも外国の方に周知していける取り組みがすぐにでも必要。

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の方が安心して暮らし、地域の中で日本の方と交流・相互理解が図れることが大事。多文化共生の波は、すぐそこまで来ている。高齢化・少子化という課題を解決するためには、外国の方々との共生社会を戸塚地域の中で実現していくことがプランの具体策となることを強く望む。
5年後に目指すまちの姿2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に通えなくても学べる場や過ごせる居場所があったらいい。 ・誰もが役割をもって、働ける場等がつくれたらいい。
5年後に目指すまちの姿3	<ul style="list-style-type: none"> ・先日ドラッグストアに薬物で相談したい時のチラシがありました。福祉施設とかケアプラザではなく、よくいく一般のお店やスーパー、ラーメン屋さんとかに支援やサービスの情報があつたらよいなと思いました。
5年後に目指すまちの姿4	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人からおとしよりまで入りやすい自治会の加入、自治会がおとしよりにかたよっている。若い人を入れてつなげる地域にする。
5年後に目指すまちの姿5	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートプランの推進にあたり、連合町内会、地区社協が中心になるかとは思いますが、法人の方に関わってもらうにあたり、地区別のハートプランの場に毎回参加して頂くのはハードルが高いかと思しますので、法人（地元企業、事業者、商店街等）の意見を聞きながらハートプランに参画してもらいやすくする仕組みづくりが必要なのではと感じます。
5年後に目指すまちの姿6	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に対する危機管理についての内容が入っていないような気がします。 ・防災と一緒に食中毒や感染症への啓発活動を入れたほうが良いと思われる。
計画全体に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・とつかハートプランの取り組みは、豊かな地域社会を作っていく上でとても重要なのは取り組みであると思う。多様性を認め合いながら、それぞれの居場所をつくる。誰もが、かけがえのない人間として輝いて生きていけるよう、この取り組みを遂行して欲しい。近年は、地域社会の関係性が希薄であるが、人との繋がりが生活を豊かにし、安心、安全な社会を形成していくことを伝えていきたい。
計画全体に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期と第4期で人との交流、顔の見える関係づくり、人を支える仕組みづくりが取り組まれ、5期においてお互いを尊重し助けあえる枠にとらわれない関係づくりが出来ると誰もが安心して暮らせると思いました。
計画全体に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・素案ではすばらしいアイデアが書かれています。実現する場所が課題です。地区センター、図書館の整備、増設が必要です。図書館では様々な講習会を開くことを期待します。明治学院大学や横浜薬科大学などの協力も得て、教養講座なども豊かな人生の実現に役に立つでしょう。音楽活動をする公共の施設が少ないです。気軽に安く使える音楽室も作ってほしいです。

(5) いただいたご意見への対応

対応	件数
「5年後に目指すまちの姿」の「みんなの意見」に追加する	9
取組事例への記載内容や計画推進の参考とする	127
	136